

令和4年度 丹葉支部学校図書館教育研究部研究集会について

1 概要

令和4年10月12日（水）、Home&nico ホール（江南市民文化会館）において、令和4年度丹葉支部学校図書館教育研究部研究集会が行われました。丹葉地区の部員47名が参加し、研究主題『新しい学びのスタイル』を支える新時代学校図書館のもと、犬山市教育委員会 図書館コーディネーター 千田みどり先生による講演、江南市立古知野中学校 仁科真由美先生より『多種の読書体験をもつ児童の育成～さまざまな本に触れるきっかけとなる図書館をめざして～』、江南市立門弟山小学校 丸山恵里佳先生より、『図書館を活用し、自分の知りたいことを見つけられる児童の育成—情報センターとして役立つ図書館を目指して—』と題して実践報告がありました。

2 講演内容

『子どもがかわる 学校がかわる 図書館づくり』

犬山市教育委員会 図書館コーディネーター 千田みどり先生

① 図書館コーディネーターとは

- ・ 学校図書館の活性化
- ・ 図書館活用カリキュラムの見直し
- ・ 教職員の意識の高揚
- ・ 図書館や図書を活用した授業の推進
- ・ 調べ学習や発展読書の充実
- ・ 学校司書の研修、授業への参加
- ・ 授業に役立つ図書館情報の配信
- ・ 市立図書館との連携



② 楽田ふれあい図書館（つばさ図書館）と えほん村の紹介 魅力ある学校図書館とは

- ・ おもしろそうな本、読みたくなるような本が豊富にある
- ・ 知りたいことを調べられる本がある
- ・ 本が分かりやすく配架されている
- ・ 清潔で明るく、居心地のよい空間である
- ・ 工夫されたブックコーナーや展示物がある

③ 学校図書館全体計画の見直し

- ・ 計画的に読書活動を推進
- ・ 担任が子どもと一緒に図書館を訪問
- ・ チーム学校で図書館教育を充実
- ・ 図書委員会の活性化
- ・ 司書との連携

従来通りに縛られずに、当たり前を見直し、できることから実践してみることで学校図書館が変わっていくことをご講演いただきました。

3 実践報告

『多種の読書体験をもつ児童の育成

～さまざまな本に触れるきっかけとなる図書館をめざして～』



江南市立古知野中学校 教諭 仁科 真由美
生徒にとって図書館が身近な存在となり、たくさん本と触れてほしいという願いから実践を行いました。図書館の環境整備や生徒への情報発信、授業内での図書館活用の実践に取り組みました。取組の成果として、図書館利用者が増え、図書館を身近に感じ始めた生徒が増えたことが挙げられます。課題は実践を行った学年以外の利用者が伸び悩んでいることやまだ本や図書館を身近な存在として感じられていない生徒がいることです。今後も、生徒が足を運びたくなるような魅力ある学校図書館を目指していきたいです。

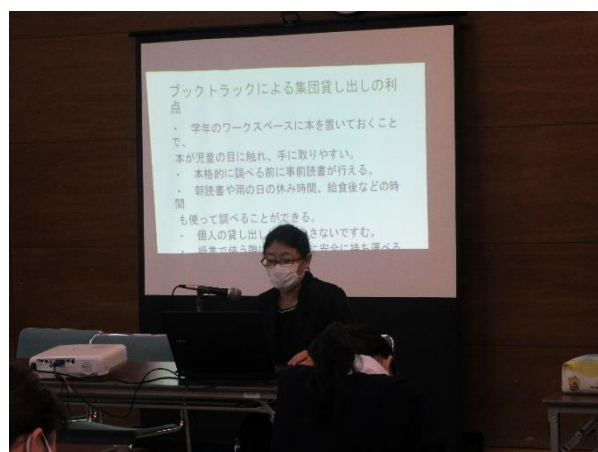
『図書館を活用し、自分の知りたいことを見つけられる児童の育成

—情報センターとして役立つ図書館を目指して—』

江南市立門弟山小学校 教諭 丸山 恵里佳

年間計画の作成やブックトラックを用いた集団貸し出しを通して図書館資料を有効に活用する取組を行いました。また、図書館使用ガイダンスの際に、図書資料を用いた調べ学習の進め方を指導したり、調べ学習用の記録用紙を作成したりすることで児童が自分の知りたいことを整理することにつなげていく取組を行いました。

取組の成果としては自分にとって必要な資料を集めやすくなり、本を有効に活用できる児童が増えたことが挙げられます。今後の課題は、上手に調べることができない児童へのレファレンスや情報端末で得た情報と図書資料で得た情報を有効に活用できる児童の育成です。



4 協議内容

子どもたちにとって図書館が魅力的で身近な存在であってほしいという願いのもと、私たちは日々試行錯誤しながら取組を行っています。やれることからやってみるという気持ちで子どもたちに合った方法を見つけていきたいと考えています。また、図書館を魅力的な存在にするためには、担任をはじめとし、すべての教職員、司書などチームで動くことが不可欠であると考えます。今後も、子どもたちにとって図書館が身近な存在であり続けるよう、手を取り合って研究を進めていきたいです。

5 今後の課題

GIGA スクール構想により、児童が一人一人端末を活用できる環境が整いました。その中で、学校図書館が担う役割を私たち教職員が意識して児童の学びを支えていかなければなりません。図書館の魅力や書物、資料から得られる情報の素晴らしさを伝えつつ、新しい学びのスタイルを確立していきたいと思ひます。